

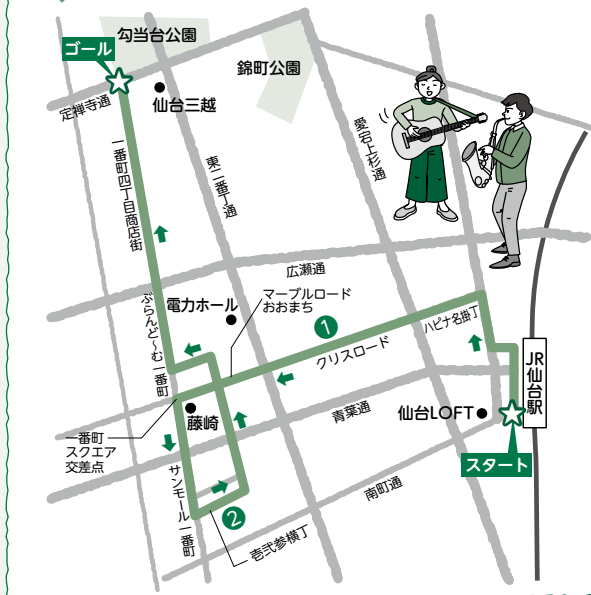
杜の都に響く音色をたどり 自分色のハーモニーをつむぐ

その六

今回は、9月8日(土)・9日(日)開催の定禅寺ストリートジャズフェスティバルの会場の一つ、アーケード街周辺をまちあるき。仙台駅を出発し、まずはハピナ名掛丁商店街へ。しばらく歩くと、道のタイルの模様が斜めになっている場所を発見。この場所は、ハピナ名掛丁商店街とクリスロード商店街との境目で、かつて四ツ谷用水の水路が通っ



▲四ツ谷用水の水路跡がタイルで表現されています。どこにあるか探してみてください



◆ 歩行距離：1.8km ◆ 所要時間：27分（分速67mで計算）
◆ 定禅寺ストリートジャズフェスティバルについて詳しくは
<http://www.j-streetjazz.com/>をご覧くださいか、お問い合わせ
ください 問観光課 ☎214・8260、FAX214・8316

せんだい
仙臺まちあるき虎の巻

ていた場所だとか。今も足元に残る、城下町仙台の面影です。クリスロード商店街の中央には、三瀧山不動院(図①)の荘厳な雰囲気漂う山門が。ここは、

江戸から明治にかけ仙台に実在した商売繁盛の神様・仙臺四郎を祭ることも知られています。マールロードおおまち商店街を歩き、一番町スクエア交差点を左折、サンモール一番町商店街へ。この商店街でひととき目立つのが、カラフルな入り口の壺式参横丁。路地の一角には昔ながらの井戸(図②)も残されており、ノスタルジックな雰囲気味わうことができます。横丁を抜けて、ぶらんどくむ一番町商店街、一番町四丁目商店街を進みます。その先がジャズフェス発祥の地、定禅寺通。166本のケヤキ並木が続きます。昭和33年の植樹当時4メートルほどの細木でしたが、現在では仙台の象徴として親しまれ、ジャズフェスのほか、さまざまなイベントを見守っています。歩き慣れた場所も、少し目線を変えると違った景色が。ジャズフェスの音色に耳を傾けながら、アーケード街の新しい魅力を発掘してみませんか？



▲井戸の手押しポンプは、平成22年に再整備されたもの

ごみ減量・分別の豆知識



非常食の食品ロスにご注意を

Wake Up!! 仙台

9月1日(土)は防災の日です。災害に備えて、家庭や企業で非常用の食料を備蓄することが一般的となっていますが、ここで気を付けたいのが非常食の食品ロス。幸いにして災害に見舞われることがなく食べる機会がなかった非常食、賞味期限が切れていた！なんてことはありませんか？ 賞味期限が切れる前にフードバンクに寄付したり、日常の食事の中に非常食を取り入れる「循環備蓄」をしたりして、非常食を無駄なく使いましょう。



問家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ！ ワンポイント防災講座

地下鉄で地震にあったら

地震は、いつどこで起こるか分かりません。地下鉄の駅構内にいるときは、柱や壁等に身を寄せ頭をバッグ等で守り、姿勢を低く。乗車中、座っているときは、体を小さくして頭をバッグ等で守ります。立っている時は、つり革や手すりを持ち体を支えましょう。

仙台市地下鉄では、緊急地震警報システムにより震度5弱以上の地震が予測される場合は、お客さまにホームや車内の電光掲示板等でお知らせし、列車を自動的に減速・停止させます。慌てず落ち着いて行動しましょう。



問減災推進課 ☎214・3109、FAX214・8096